

すり鉢山展望台



津軽藩政時代の1854年に完成した人工の山です。大星場（的）として作られ、小砲や大砲の訓練場所として使われました。津軽藩だけでなく、松前藩の藩士も訓練に来たという記録も残っています。周りに景観を遮るものがなく見晴らしがよいため、現在は岩木山や弘前市街地も見渡すことができる展望台となっています。